

令和5年度 学校評価のためのアンケートの結果と考察について

寒さ厳しき日が続いております。保護者の皆様には、本校教育進展のためにご理解、ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、12月に「宍喰中学校の教育」に関するアンケートをお願いしましたが、保護者の皆様にはお忙しい時期にたいへんお世話になりました。皆様にご回答いただきました学校評価アンケートと学校で実施いたしました生徒・教職員による評価アンケートの集計結果ができましたのでご報告させていただきます。今回のアンケート結果を踏まえて、これからも学校運営に工夫・改善を重ねていきたいと思っております。また、ご家庭におかれましても、今後の家庭教育の参考にしていただければ幸いです。

今後ともさらなるご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 調査の概要

(1) 回答数

生徒 41名、保護者 40名、教職員 13名

(2) 質問内容、回答方式等

本年度も、生徒・保護者・教職員でほぼ同じ質問内容のアンケートを行い、三者の比較もできるようにしました。回答は、それぞれの質問項目に対して、「そう思う」「ほぼそう思う」「あまり思わない」「思わない」からの選択回答としました。

(肯定的な評価) **1: そう思う** **2: ほぼそう思う** (否定的な評価) **3: あまり思わない** **4: 思わない**

2 調査結果 (グラフと照らし合わせてご覧ください。)

(1) 【学校生活に関すること】 学校の雰囲気・施設設備の充実

1-1 宍喰中学校は、生徒一人一人が大切にされていて学校の雰囲気もよい。

昨年度よりも、全対象者ともに肯定的な評価が増加しており、学校全体の雰囲気が良いことを支持されているので、さらに生徒一人一人に応じた丁寧な指導をさらに実践していきたい。

1-2 教育環境は整備されている。

修学旅行・学校行事・総合学習等でタブレットを校外へ持ち出し活用している。家庭でのリモートでの大型テレビの活用など、さらに充実させていく。教室環境については、営繕修理できる場所は、丁寧に修繕に努め備品等を大切に使用していきたい。

1-3 安全安心な学校づくりに努めている。

総合学習や小中連携に「防災教育」を位置づけるなど、重点目標として取り組んでいる。毎月20日(学校安全の日)の施設設備の安全点検・避難訓練など、生徒の安全確保に関わる取組をさらに充実させ、安全・安心な学校づくりを進めていきたい。

1-4 生徒は、喜んで登校している。

生徒の肯定的な評価が71%であり、昨年度とほぼ同じ。否定的な意見を持つ29%の生徒たちが毎日喜んで登校できる学校となるために、生徒一人一人のよさを伸ばし、頑張りを認め、温かな声かけをしていきたい。

(2) 【生徒の生活に関すること】 他人への思いやり・学校のきまり・基本的生活習慣

2-1 生徒は、周囲の人に対して思いやりの気持ちを持って行動できている。

教職員の肯定的な評価が10%上がっている。各学年での人権教育の充実もあって、自分も周りの人も大切にするとする思いやりの心を養うことができている。

2-2 生徒は、学校のきまりや社会のルールを守っている。

生徒たちの肯定的な評価が12%上がっている。活気のある学校生活をめざすとともに、これからは、あいさつ・学習ルール・集団活動・清掃などの具体的な指導を通して、規範意識を高めていきたい。

2-3 生徒は、基本的な生活習慣（あいさつや返事）をよく身につけている。

生徒・保護者ともに否定的な評価が11%～19%である。毎日気持ちの良いあいさつができるように、今後も望ましい基本的な生活習慣の定着をめざして、根気強く時間を守る・あいさつ・清掃を三本柱として年間を通して取り組んでいきたい。

2-4 生徒は、時間を守って行動できている。(生徒・教職員のみ)

生徒は肯定的な評価として捉えているが、教職員の46%が時間を守れていない場合があると答えている。登校がぎりぎりの生徒も数名おり、遅刻0やゆとりを持った行動ができるよう、保護者との連携を図りたい。

2-5 生徒は、清掃にまじめに取り組んでいる。(生徒・教職員のみ)

生徒たちの18%(昨年度23%)が否定的な評価となっている。日頃から教師も率先して生徒とともに清掃活動に取り組むことを心掛けているが、自主的に楽しく作業ができるよう指導を継続していきたい。

(3) 【教職員に関すること】 教職員の指導姿勢・情熱

3-1 教職員は、一人一人に応じた適切な学習指導や生活指導をしている。

否定的な評価が生徒9%が0%に、保護者20%が10%に減少した。これからも、わかりやすい授業を心がけ、授業改善に取り組むとともに、生徒個々に対応したきめ細かな指導を進めていきたい。

3-2 教職員は、生徒や保護者の悩みや相談に優しく丁寧に答えている。

生徒19%保護者12%が否定的な評価となっている。各家庭との丁寧な連携体制の構築に取り組み、全教職員で生徒や保護者の相談には真摯に向き合っていきたい。

3-3 教職員は、生徒が努力したことを認め、ほめている。

生徒5%保護者14%が否定的な評価となっている。授業や学校生活を通して生徒一人一人にしっかりと伝わるように努力した過程を認めほめることで生徒の自尊感情を高めていきたい。

(4) 【授業・学習に関すること】 わかりやすい授業・家庭学習・適切な評価

4-1 生徒は、授業は楽しくわかりやすいと言っている。

生徒41%保護者28%教職員31%が否定的な評価である。生徒の学力向上のためにも一人一人を大切にしたいわかりやすい授業を工夫改善していくとともに、無理のないタブレット活用、ペア・グループ活動、TTや個別指導などの方法を見直し、生徒一人一人に応じたきめ細かな指導に一層取り組んでいきたい。

4-2 生徒は、授業のルールを身に付け、落ち着いて授業に取り組んでいる。 生徒・教職員のみ

生徒69%教職員93%が肯定的な評価である。生徒の肯定的な評価が昨年度から5%増えている。全体的には落ち着いて授業に取り組めているように見えるが、今後生徒が主体的に授業に取り組んでいくことができるよう、効果的にタブレットを活用しながら、よりわかりやすく生徒一人一人のやる気を引き出す工夫や教材準備を心がけていきたい。

4-3 生徒は、家庭学習に意欲的・積極的に取り組んでいる。

生徒45%保護者61%教職員61%が否定的な評価である。家庭学習の手引き等を工夫改善し、生徒一人一人が自主的に家庭学習を進めることができるよう家庭学習の習慣化をめざす。学習目標の持たせ方や宿題についても改善を図り、保護者との連携をしながら継続して家庭学習の定着を図っていきたい。

4-4 教職員は、生徒の能力や努力を適切・公正に評価している。

生徒95%保護者81%が肯定的な評価である。生徒一人一人の努力を適切・公正に評価をするために、指導と評価の一体化を図り、さらに高い意識で取り組んでいきたい。また、評価が各教科3観点になっていることから生徒や保護者への丁寧な説明を心がけていきたい。

(5) 【学校行事に関すること】 行事の内容・意義・取り組み方

5-1 学校行事は、楽しく内容も充実している。

生徒10%が否定的な評価であるが、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行となり、学校行事はほぼ計画通りに実施できたお陰で、生徒の「そう思う」の項目が10%以上増加した。今後さらに学校行事のあり方等を見直し、改善を図っていきたい。

5-2 学校行事は、生徒の成長や良好な人間関係づくりに役立っている。

生徒の肯定的な評価が82%であり、生徒の意見も聴きながら、学校行事から一人一人に何を学ばせたいかをさらに明確にし、教職員の共通理解のもと指導にあたっていきたい。

5-3 生徒は、学校行事に積極的に取り組んでいる。

生徒87%が肯定的評価である。今後も事前指導を充実させ、生徒が自主的・主体的に取り組めるよう生徒会からの意見を尊重しながら企画運営を行っていきたい。

(6) 【部活動に関すること】 教師の指導・生徒の取り組み方・意義

6-1 教職員は、熱心に部活指導をしている。

生徒の3%保護者5%が否定的評価である。部活動の運営や活動内容等の保護者への連絡を密にし、保護者が安心して生徒を預けることができるよう取り組んでいきたい。

6-2 生徒は、部活動に楽しく意欲的に取り組んでいる。

生徒の28%保護者18%が否定的評価である。部活動のあり方や活動内容を明確にし、自主的・意欲的に取り組めるよう、合同チームや拠点校チームでの指導方法や部活顧問とのコミュニケーションの充実を図っていきたい。

6-3 部活動は、生徒の成長や良好な人間関係づくりに役立っている。

三者共に肯定的な評価が高い。今後も生徒たちの成長を支援していきたい。また、人間関係づくりについても、きめ細かな対応を継続したい。

6-4 部活動では、授業とちがった大切なことも学んでいる。(生徒のみ)

11%が否定的評価であるが、普段の学校生活では学べないものが部活動を通して得られるので、豊かな人間性を育てていく部活動としていきたい。

(7) 【開かれた学校づくりに関すること】 情報公開・参観日や面談・地域の協力

7-1 学校からの情報提供は十分であり、通知は適切である。(保護者・教職員のみ)

保護者・教職員共に肯定的な評価が高い。一層積極的な情報発信を心がけていきたい。学校新聞やメール・ホームページ・学年便りや個人懇談などを通して、学校の予定や生徒の様子、学校の具体的な取り組みなどについて、なお一層積極的な情報発信を心がけていきたい。

7-2 授業参観や面談の回数・内容などは適切である。(保護者・教職員のみ)

保護者・教職員共に肯定的な評価が高い。今後も対策・工夫をすることで学校行事の公開や授業参観等を充実させ、開かれた学校づくりに努めていきたい。

7-3 学校からの文書や便りはいつも届いている。

保護者33%生徒36%教職員46%が否定的評価である。学校からの通知や案内が確実に保護者に届くように、学校からのメールやホームページ等の活用や生徒への指導をしていきたい。

7-4 お子さんは学校の様子を家庭でよく話している。(保護者・生徒のみ)

肯定的な評価が、保護者84%、生徒63%である。昨年度より保護者が11%改善しているが、さらに家庭で生徒と保護者の会話が進むように学年便りやホームページなどで、しっかりと情報提供をしていきたい。

7-5 保護者や地域の方が積極的に教育活動に参加し、協力している。(保護者・教職員のみ)

保護者・教職員共に肯定的な評価が高い。保護者や地域の方と共に活動する機会があまり持てなかった。チェンスクールの実施に伴い、小中で今後もさらなる連携・協力を図り、地域と共にある学校づくりを推進していきたい。

(8) 【保護者の意見から】

- 学習の補習授業をしてほしいです。
授業時間内では理解しきれない？聞くことができていない？部分もあるようなので。
- 交番前の横断歩道で一時停止しない車が多くて、不安です。子供たちの安全指導を強化してほしい。
- 昨年とは違って、学校の雰囲気は良くなりました。

学校教育の充実に向けて貴重なご意見をいただきありがとうございました。意識の向上に努め、本校教育をより充実させていきたいと考えています。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。